

2023年度事業報告書

特定非営利活動法人DxP

I 事業期間

2023年4月1日～2024年3月31日

II 事業の成果

設立11期目は事業全体で2,037名(のべ5,743名)の高校生・若者と出会い・関わり・必要に応じたサポートを行った。

事業(1)では、起業当初より取り組んでいる通信・定時制高校における「人とのつながりをつくる」プログラム・クレッシェンドを実施。定時制高校および通信制高校の計4校へクレッシェンドを導入。また、学校や地域のなかに居心地のよい場所をつくる居場所事業を大阪府・京都府の定時制高校と提携して計2校で実施した。クレッシェンドおよび居場所事業において関わった生徒数は延べ1,200名となった。また高校生と関わるボランティアは、延べ127名が参加した。

従来の取り組みに加え、2022年8月から、繁華街(大阪・ミナミ)で「夜の街」が居場所となっている繁華街の若者にアウトリーチし、週3回程度の頻度で、食べ物・飲み物・スマホの充電スペースなどを無料提供しながら、そこに集まる10代と相談にのれる関係性をつくれるよう関わってきたが、2023年6月からは、屋外ではなくより安心して過ごせる場所が必要との考えから、ナイトユースセンターという拠点を新たに開設。ユースセンターの実施回数73回、延べ利用者数3,991名、食事提供数3,079食。

まずはごはんを食べられる、寝られるなどの安全な環境や、自分の状態や気持ち、権利が尊重される経験が必要との思いから、そのままの自分を尊重される機会を積み重ねるなかで、自分の意思や自己決定の瞬間が生まれるようサポートしている。

事業(2)に関しては、主にユース世代をとりまく課題をテーマに講演を実施。講演を通じて多くの方に若者の置かれている状況についてお伝えすることができた。

事業(3)(4)に関しては、様々な事情を抱えた若者の進路・就職相談「ユキサキチャット」を実施し、LINE公式アカウントを使って相談に応じた。累計登録者数は13,054名(昨年比2,607名増)で、これまで6,089名(昨年比1,152名増)の相談を受けた。全体の相談者の約6割が1ヶ月以上～3年以上の長期にわたって相談をしており、本人と並走しながらサポートを続けている。

また、親に頼れないなど様々な事情によって学業や生活、仕事の継続が難しくなっている若者に対し面談を行い利用できる福祉制度があれば案内し、必要な場合は食糧支援や家賃等にあてる給付を実施することで次の職につながるための土台とした。食糧支援は、延べ655名(合計87,810食)、現金給付は416名(合計21,162,000円)となり、一時的な生活のサポートとなった。長期食糧支援を行った若者149名のうち、61名が食糧支援を受けたことによって「学業を継続できている」、25名が「学校を卒業できた・仕事が決まった」、22名が「公的制度等につながった」、10名が「滞納が減った・解消できた」と回答している。

事業(5)(6)(7)は2023年度においては実施していない。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) (事業名) 若者か「教育機関を卒業後に社会的弱者になることを予防する為のキャリア教育支援事業
(内容)

- ① 高校生が社会人ボランティアとの関わりを通して人とのつながりをつくる授業プログラム、および、学校内に居場所をつくる事業を実施。
- ② 繁華街(大阪・ミナミ)で「夜の街」が居場所となっている繁華街の若者にアウトリーチし、安心して過ごせる場所を提供しつつ、必要な社会資源と繋がれるようサポート。

(実施場所)

- ① 通信制/定時制高校
- ② 大阪・ミナミ周辺、ユースセンター内

(実施日時)

- ① 1校につきおよそ2-3ヶ月で3-4回の授業を実施、週1回の居場所事業を各校で実施
- ② 週2回火曜日・土曜日16-22時、その他の日時で同行支援も実施

(事業の対象者)

- ① 通信制高校/定時制高校に通う高校生
- ② 大阪ミナミの繁華街にSNSを介して集まる様々な背景を抱えて孤立する16歳から25歳までの若者

(収益) 2,030,000円
(費用) 91,553,805円

(2)(事業名)若者を取り巻く問題の現状理解を目的とした講演活動及びイベント事業 (内容)若者を取り巻く問題を一般の方々に知ってもらうための講演活動及びイベント事業。

(実施場所)Youtubeやzoomなどオンライン上や各講演会場にて

(実施日時)月1回程度

(事業の対象者)一般市民

(収益) 1,488,154円

(費用) 16,039,482円

(3)(事業名)若者が「教育機関を卒業後に就労を通じた社会的自立を図る為の就労支援事業

(内容)

①若者が学校を卒業したあとに働いて生きてゆくために、進路相談に応じ、仕事やネクストアクションにつなげていく取り組みを実施。

②外部団体との共同事業として、孤立孤独／生活苦を抱える若者に対し、新たなアウトリーチの取り組みによって、より多くの若者に緊急支援を届けることを目的とした支援事業に対し、助成や並走支援を実施。

(実施場所)

①LINEなどインターネット上、教育機関、当団体事務所

②オンライン上、当法人事務所、当法人ユースセンター、助成先団体活動地等

(実施日時)

①平日10時～19時

②事業期間2023年8月～2024年2月末の助成先事業に対し前後の期間も含めて実施

(事業の対象者)

①13歳から25歳までの若者

②特定非営利活動法人等7団体および、各団体が関わる子ども・若者(原則13-39歳)

(収益) 0円

(費用) 371,543,714円

(4)(事業名)若者が「社会的自立を行うための能力開発・職業体験事業

(内容)若者が学校を卒業したあとに働いて生きてゆくために、さまざまなチャレンジ機会、職業体験の機会を得て、経験しながら学べる機会をつくる事業です。

(実施場所)各職業体験先、当団体事務所

(実施日時)春休み、夏休み期間を主体とし平均月1回程度

(事業の対象者)通信・定時制高校に通う生徒、および10代後半の若者

(収益) 0円

(費用) 12,160円

(5)(事業名)若者の生活支援の為のシェアハウスやその他スペースの運営に関する事業

(内容)若者が暮らすことができるシェアハウスやその他スペースをつくる事業です。

(実施場所)今年度は実施なし

(実施日時)今年度は実施なし

(事業の対象者)29歳以下の若者

(収益) 0円

(費用) 0円

(6)(事業名)若者のビジネス支援の為のコワーキングスペース等の機会提供サービス業

(内容)不登校・中退状態の15-19歳が「通える場所」となれるよう、コワーキングスペースを運営したり様々な機会を提供する事業です。

(実施場所)今年度は実施なし

(実施日時)今年度は実施なし

(事業の対象者)通信・定時制高校に通う生徒、および10代後半の若者

(収益) 0円

(費用) 0円

(7)(事業名)若者のビジネス支援の為の物品・サービス等の販売業

(内容)若者が自らなにかサービス・商品をつくり、販売する事業。

(実施場所)今年度は実施なし

(実施日時)今年度は実施なし

(事業の対象者)通信・定時制高校に通う生徒、および10代後半の若者
(収益) 0円
(費用) 0円

IV 社員総会の開催状況

通常社員総会

(日時)2023年5月25日 午後3時半から午後4時半

(場所)当法人事務所

(社員総数) 14名

(出席者数) 14名(うち委任状出席者1名)

(内容)事業報告並びに活動決算の承認、事業計画並びに活動予算、理事の退任の承認

V 理事会その他の役員会の開催状況

通常理事会

(日時)2023年5月23日 午後8時から午後9時半

(場所)当法人事務所

(理事総数)4名

(出席者数)理事4名、監事1名

(内容)通常社員総会開催の件、事業報告並びに活動決算、事業計画並びに活動予算の承認